

〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1315
FAX(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp



令和7年度地域でつながる家庭教育応援事業 親子の学び応援講座（南相馬市立原町第三中学校）

『うまく伝える！うまく聞く！スキルをゲットしよう』講座の概要

令和7年11月5日（水）時間：10:25～12:15

場所：南相馬市立原町第三中学校体育館

対象：原町第三中学校生徒（62名）・保護者、大甕小・太田小保護者・教職員、興味のある方

後援：福島県教育委員会

「ソーシャルスキルトレーニングを行いました！」

SST=円滑な人間関係を築くために必要なコミュニケーション能力や対人スキルを、実践的に習得するためのトレーニング方法

親業訓練シニアインストラクター・教師学上級インストラクターの大屋弘子様をお招きしました。「家庭や学校においてもお互いを理解することは、とても重要なことです。自分も相手も大切にしながら、より良い人間関係を築くためのヒントや具体的な方法を学びましょう。」ロールプレイや寸劇などの手法を用いながら、よりよいコミュニケーションの在り方を教わりました。

大屋様は、国内外での6回の転居を経験する中で、「各々の地域で充実した心豊かな暮らしをするには、家族関係や周囲の人間関係（コミュニケーション）が、如何に大切か」を実感したそうです。その体験を踏まえ、1991年より親業インストラクターとして、親と子、大切な人との間に、丈夫で温かい『心のかけ橋づくり』を合言葉に、親業の輪を広める活動を開始したそうです。現在もライフワークとして講演や講座など、活動を継続していらっしゃいます。栃木県・福島県・北海道内、合わせて12か所にある「親業サークル」では、継続学習や生涯学習の一環として講師を務めながら、共に学び続けています。

【講義内容】

1. 親業とは？
2. 「子ども」も「親自身」も大切にする関係づくりのために
3. 子どもの心を閉ざす対応
4. 子どもの心を開く聞き方
5. 子どもの心に届く話し方
6. 対立したときの解決法



大屋 弘子様

【講演が終わって ～生徒の感想～】

- 友達との会話で活かせるようにしたいです。
- いつも明るく過ごそうと思いました。
- 今後の自分の過ごし方を考えさせられました。
- 相手のことも考えて、発言しようと思いました。
- コミュニケーションの仕方の工夫を学びました。
- 能動的なコミュニケーションをとることが大切とわかりました。
- 信頼関係を作るのは難しいけど、壊すのは一瞬なんだと感じました。
- 言葉に気をつけて、これからも友達とたくさん話をしたいと思いました。
- 振り返ってみると私は、攻撃型のことが多かったのかなと思いました。今日学んだことを日常でも活かせるように考えながら発言していきたいです。
- 無意識に攻撃的な言葉遣いをしていたなあと振り返ることが出来たので、良かったです。
- これからは、今までよりも言葉に気をつけて話すようにしたいと思います。また、同情したり慰めたりしているつもりでも、なんか違う時があるので、そこにも気をつけて生活したいと思います。

